

## 令和4年12月 定例教育委員会 議事録

日 時 令和4年12月22日(木) 開会 17時30分  
閉会 18時18分

場 所 5階大会議室

出席者 教育長 寺岡 悌二  
教育委員 福島 知克(教育長職務代理者)  
教育委員 山本 隆正(議事録署名委員)  
教育委員 新谷 なをみ

事務局職員 教育部長 柏木 正義  
教育部次長 稲尾 隆  
教育政策課長 奥 茂夫  
学校教育課長 松丸 真治  
社会教育課長 古本 昭彦  
教育政策課参事 浅井 建二  
教育政策課参事 森本 悦子  
教育政策課参事 西澤 和江  
教育政策課参事 時松 哲也  
学校教育課参事 利光 聡典  
学校教育課参事兼教育相談センター所長  
太田 悟  
教育政策課長補佐兼教育政策係長  
釘宮 誠治  
教育政策課指導主事 重岡 秀徳

傍聴人 0名

議事日程 第1 議事録署名委員の指名について  
第2 令和4年度別府市奨学生選考委員会委員の委嘱について  
【議第55号】

報告事項 (1) 別府市学校給食運営委員会からの答申について【報告第16号】  
(2) 令和4年第4回市議会定例会について【報告第17号】

その他 (1) 1月定例教育委員会の開催日程について

# 議 事 録

## ◎ 開 会

寺岡教育長 ただいまより令和4年12月の定例教育委員会を開会いたします。  
本日は、川崎委員と松浦委員の2名が欠席でございます。

---

## ◎ 議事録署名委員の指名について

寺岡教育長 議事日程第1、議事録署名委員の指名につきましては、本日は山本委員に  
お願いいたします。

---

## ◎ 令和4年度別府市奨学生選考委員会委員の委嘱について

寺岡教育長 それでは議事に入ります。議事日程第2、議第55号 令和4年度別府市  
奨学生選考委員会規則の一部改正についての説明をお願いいたします。

学校教育課長 それでは1ページをお開きください。議第55号につきましては、規定に  
より議決を求めるものです。

2ページをお開きください。別府市奨学生選考委員会規則により、委員会  
は委員7名をもって組織し、委員は、教育長・教育委員各1名、社会福祉  
団体代表1名、民生委員代表2名、中学校長代表1名、有識者1名とし、  
別府市教育委員会が委嘱することとなっております。この規則に基づき、  
委員をこの7名の方々に委嘱したいと考えております。教育委員1名につ  
いては、新谷委員ということで提案させていただければと思います。

以下は、それぞれの団体の長に依頼して推薦をいただきました。社会福祉  
団体代表は別府市社会福祉協議会常務理事、釜堀秀樹様。民生児童委員代  
表は民生児童委員協議会副会長、後藤正巳様と民生児童委員協議会会計、  
渡邊津貴子様。中学校長代表は中学校長会長、神淳祐校長。有識者は別府  
いでゆライオンズクラブ会長、日野宏二郎様です。なお、令和4年度別府  
市奨学生選考委員会を、昨年同様に令和5年1月定例教育委員会の前、15  
時頃に開催したいと思っております。以上7名の推薦について、承認をお願い  
いたします。

寺岡教育長 ただいま学校教育課長より説明がございました。これより質疑を行います。  
教育委員の皆様、何かございますでしょうか。

山本委員 任期が委嘱の日から1年間となっておりますが、令和4年度の委嘱で、具  
体的にはいつからいつまでですか。

学校教育課長 今年度は令和4年1月28日、最初の選考委員会が開かれたときから令和

5年1月27日までの1年間となっております。

**山本委員** 具体的な選考というのは、この時期、これからの時期に行われるということですか。

**学校教育課長** 1月の定例教育委員会の前に選考委員会を開催しまして、実際に中学3年生の子どもたちが来て面接等を受けるのが1月下旬頃になります。

**寺岡教育長** その他よろしいでしょうか。では、他に質疑等もないようでございますので、以上で質疑を打ち切り、議第55号は、原案に対し議決することにご異議ございませんか。

※異議なし

**寺岡教育長** ご異議もないようでございますので、議第55号は議決することに決定いたしました。

---

## ◎ 報告事項（1）

**寺岡教育長** 次に報告事項に入ります。報告第16号 別府市学校給食運営委員会からの答申についての説明をお願いいたします。

**教育政策課長** 6ページをお開きください。令和4年8月26日付けで教育長より別府市学校給食運営委員会に対し、「別府市立学校における食育推進計画の策定」を諮問しました。学校における食育推進を図り、食に関わる資質及び能力を育成する施策として、食育を推進するための基本的な計画となる「別府市立学校における食育推進計画」の基本方針について、運営委員会の意見を求めたものであります。同委員会におきまして、8月26日と10月5日の2回にわたり審議が行われ、12月19日に委員会より教育長に答申がありました。

7ページと8ページをご覧ください。食に関わる資質及び能力を育成する施策として、8つの事項を踏まえ、別府市らしい基本方針を掲げた「別府市立学校における食育推進計画」の策定を求める内容となっております。

1 食を通じて豊かな心を育む、2 心身の健康を保持・増進できる力を身に付ける、3 給食から学習する「日本一おいしい給食」、4 社会情勢に応じた食育の実施、5 別府市の特色を生かしたふるさと学習と食育の連携、6 家庭や地域と繋がる食育、7 各学校での食育の体制の充実、8 栄養教諭による食育の支援と実施、となっております。今後は、この答申の趣旨、内容を尊重し、令和5年度1学期中を目途に「別府市立学校における食育推進計画」を策定し、教育委員会の支援体制のもとで、各学校において食育を推進してまいります。報告は以上です。

**寺岡教育長** ただいま教育政策課長より報告がございました。これより質疑を行います。教育委員の皆様、何かございますでしょうか。

**新谷委員** 栄養教諭の方は、今別府市内に何名いて、多分ちょっと前からいると思うのですが、これまでも栄養教諭が直接学校に行って児童や生徒に食育をしたことがあるかどうか、教えていただけますか。

**教育政策課長** 栄養教諭及び栄養職員ですが、まず今の体制で、共同調理場に県から2名、そして各学校、小学校ですが県から5名、それ以外の小学校には全て別府市の学校栄養職員が1校に1名の体制で配置され、食育を行っています。これが、来年度は県の配置がどうなるか分かりませんが、センターが稼働した以降、特に令和6年度ですけども、体制的に予定としては新しくできるセンターのほうに栄養教諭や栄養職員を集結した形を取りまして、校区を東西南北等に分けまして、それぞれの区域ごとに栄養教諭や栄養職員が巡回等をして、それぞれ食に関する指導や、献立によっては、例えば地元産のものを使っているんですよといったことを給食時間中にお話をしたり、農家の方の声を拾ってそれで動画を作って学校で流したり、そういった形で、1校1名の体制は令和6年度以降は難しいと思うのですが、そういった地区割りをすることで学校の食育体制を推進していきたいと考えております。

**新谷委員** 私は、やはり男子も女子も小さいときから食べることについてきちんと勉強しないといけないなとずっと思っていて、今はコンビニ等に行くと出来合いのものがたくさんあるんですが、食品添加物などがかなり入っていて、そういうことをなかなか学ぶ場所がないというか、本当に学校の中で教えてあげないと、一人暮らしになったときに男子も女子もコンビニでものを買って食べるということが多いと思うんですね。コンビニのものが全て悪いとは言いませんが、やはり栄養教諭による食育という授業があれば自分で無農薬の野菜を買ったり、あまり添加物が入っていないものを使ったりして自分で調理するということができるようになるかなと思うので、ぜひこの食育は推進して行ってほしいなと思っています。

**教育政策課長** ありがとうございます。食育は子どもたちが生きていくための源になるものであって、そのために食品の選別ですね、自分が食べる食材が安全であるかどうか、食品添加物の話がございましたけども、そういったことも含めて選抜できる力を子どもたちに養ってもらいたいと考えておりますので、今いただいたお話を元に食育をさらに推進していきたいと思っております。

**福島委員** 7ページに食育推進計画の基本方針に求める事項の1番に「食を通じて豊かな心を育む」とあって、注釈がついているんですけど、具体的にはどんな料理かということの説明できないといけないんじゃないですか。今説明できますか。

**教育政策課長** 具体的な食材ということですか。

**福島委員** 私が言うのはそのメニューがこれなんです、と言えるかということなんです。例えば、一般的なカレーライスはこうだけど、我々が言っているカレー

ーライスはこうなんです、ということが説明できますか。

**教育部長** 今回、委員会からいただいた基本方針に求める意見、これを元にして、今回は別府市立学校における食育推進計画というものを作ります。今福島委員にいただいたご意見は、ひとつのアイデアとして、そういうことが当てはまっていくかということを含めて、計画を作るときに検討させていただければと思います。よろしいでしょうか。

**福島委員** 他の方に聞かれたときに、ここで言うカレーライスはこういうものです、ということが、メニューのレシピの部分まで言えるように、一つひとつについて説明しないと分からないと思うんです。

**教育部長** 繰り返しになりますが、食育推進計画を作っていく過程の中で参考にさせていただきたいと思います。

**福島委員** そうですね。言えるようにしておいてください。

**山本委員** やはり距離感ができるということが皆さん気になるころと思います。作った人たちと食べる子どもたちとの距離感ですね。きちんと作った人の思いが伝わるかということで、ICTを活用するというのも一つの手だと思います。多分作った方や栄養教諭の方がそこで放送するんですよね、きっと。福島委員さんが言われるように、ちゃんとこういうことでおいしいんだよ、と説明しながら食べる、それでおいしさも倍増するかなと思うんですけど、やはり栄養教諭の存在というのは大きいとっていて、おいしいものを作っても、それを上手く伝えないと日本一おいしい給食にならないと思うので、そこをぜひ具体的な計画のときに入れていただきたいなと思います。8番の栄養教諭による食育の支援と実施というところで、「教職員が行う食育の支援を行うこと」なんて書いてありますけど、栄養教諭自身が子どもたちの食育の指導をしても、もうちょっと栄養教諭が全面に出てもいいんじゃないかなと思っています。特に今回はセンター化されて、栄養教諭がみんなそこに集まるのであれば、ぜひそういうことでおいしいものを作って、おいしいですよときちんと伝えてもらうというようなところでお願いしたいなと思いました。

**教育政策課長** ありがとうございます。栄養教諭の存在というのは、私どもも大変大きなものと考えておまして、専門的な知識を有している栄養教諭が学校や家庭と連携して、子どもたちの成長に応じた方法で食に関する学びや体験を提供できるようにしたいと考えております。例えば、食の困りについて相談を受けたりとか、様々な情報を共有したりする機会を設けたりとか、毎月の給食だよりや随時発行の給食だよりで情報を提供したり、見学会や試食会といったもことも実施して、子どもたちと学校が繋がるような懸け橋になりたいと考えております。また新しくできるセンターですが、そちらでも今お話ししましたICTありきとは考えていませんので、ICTもちろん活用しながらですが、新しいセンターで見学スペースを設けたりとか、半個室を利用して料理教室を開催したりとか、食材が納入されてから給食が学校に届くまでの説明をしたり、生産者の思いを動画で視聴したり

とか、そういった取組を行っていきたいと考えております。

**山本委員** ぜひアウトリーチというか、学校にも栄養教諭の方に行ってもらって、生の声が聞こえたほうがいいと思いますので、ぜひそういうことも入れていただきたいなと思います。

**寺岡教育長** よろしいでしょうか。では、他に質疑等もないようでございますので、以上で質疑を打ち切りたいと思います。

---

## ◎ 報告事項（２）

**寺岡教育長** 次に報告第 17 号 令和 4 年第 4 回市議会定例会についての説明をお願いいたします。

※ 各担当課長より議案質疑及び一般質問にかかる質疑応答の概要をそれぞれ報告した。

**寺岡教育長** ただいま部長、各課長より報告がございました。これより質疑を行います。教育委員の皆様、何かございますでしょうか。

**新谷委員** 阿部真一議員が教職員の研修のことを尋ねていますが、県の研修は、決まった年というか、こういう教員対象でという指定があって行くと思うんですけど、前は別府市の総合教育センターが市の先生方のニーズに合ったような研修講座をたくさんしていたんですね。時間も 3 時半くらいからだったので、非常に参加しやすい時間帯でいろんな講座があったと思うんですが、機構改革で総合教育センターじゃなくなって、そういう別府市の先生方の要望に合った研修講座は今どの課が担当されているのかということと、少なかったと思うんですが、今年や去年にどのような講座が実施されたかということをお教えいただけますか。

**学校教育課長** 担当課につきましては学校教育課で担当しております。出前研修講座という名前はまだ残っております。そこで各学校又は各団体と言いますか数学なら数学部会といったところから講師をお願いしたい等の要請があれば、それに対しての派遣を行うなどそういったことは行っております。ただ、今現在どこにどのくらいのニーズがあるのかというようなことは把握しておりません。

**新谷委員** 出前研修講座ではなくて、学校教育課が主催した先生に向けた研修講座があったのかなかったのか教えてください。

**学校教育課長** まず、8 月の初旬に行われる新採用の研修は、初めての臨時講師の方、新採用者、そして初めての事務職員の方を集めて開催しております。今年は 35 名程度だったと思います。もう一つは人権学習ということで、部落差別の関係の研修をしております。それにつきましては、コロナ禍でできな

った年もあるのですが、例年2回開催しております。一つは歴史学習という部分と、もう一つは参加型学習の講座を設けております。この2つが今思い出せる範囲の研修になります。

**新谷委員** すごくこじんまりしていて、別府市の先生方がぎっくばらんに意見交換できて、そして自分が知りたいことをピンポイントで聞けるような講座が市の講座であったので、少しずつでもいいのでそういう講座を復活させて、まあICTも入ってきたのですが、授業は教員が組み立てて、自分の目の前の生徒に合った授業をしてかないと、学校も生徒も変わらないと思うんです。別府市のこの教科の先生たちに何が必要かということのを学校教育課の指導主事が把握して、研修に行きたくなる、行ったらとても為になったというような研修を続けていかないと、なかなか授業力がつかないと思うんですね。先日、別府西中学校のICTの授業を見たんですけど、やはりICTを使うことだけが目的になったらおかしいなと思ったんです。やはりあの中で子どもたちにどんな力をつけたいかとか、それがあってその中でICTを効果的に使うというということがICTの目的だと思うんですけども、いくつか気になるところがあったんですよ。あと評価基準とかも全然はっきりしなかったという感じをととても受けました。だからそういう先生方に今必要な研修は何かということのを学校教育課の指導主事が把握して、そういう講座を、別府市の先生のためのものを作ってほしいなと感じています。

**学校教育課長** すみません、忘れていたものがありました。ICT関係は、今年Doitと契約をしておりましたので、そういったICT関係の研修もしております。それから校務支援システムが入りましたので、その研修もしております。ちょっと他にも思い出せないものもあるのですが、ただもう一点、反対側に働き方改革の点から見たときに、研修の精選という部分もありますので、その辺も見据えながら、今委員がおっしゃったような、今必要な研修というものを精選していきたいと思えます。ありがとうございます。

**山本委員** 今の新谷委員さんに関連するかもしれませんが、私は県の教育委員会福利課のほうに定期的に行っているんですけど、教職員のメンタルダウン、休職とかですね、そういうのが大体50代の方が多かったのですが、近年20代で、採用して間もない人のメンタルダウンとか適応できないというケースが増えているようなんですよ。ご存じのように教職員の採用の倍率がかなり下がってきていて、受ければよほど悪くなければ合格するという状況で、これまでだと臨時講師などで下積みがあったのが全くなって、いきなり現場に来るというところ、それから今の若い人たち、ゆとり世代とかZ世代とかいうような世代の人たちが我々世代とはちょっと違って、もうちょっと丁寧な優しい指導というようなことが必要になってくるのではないかなと思うので、ぜひそういう視点も入れながらやらないと、若い人たちが育たないんじゃないかなという危惧があります。

**学校教育課長** 実際に今年の10月末日で退職された若い先生が1人いらっしゃいます。それから病休者がやはり数名出ております。それも30代40代ですので、先程委員が言われたように、そういった面も考えながら学校長も対応して

いる状態です。ですが、特に新採用の方などは卒業してすぐ入る方が多くなっていますので、今年 23 歳、または短大卒であれば 21 歳になる方が入っているのです。今は退職された校長先生が学力向上アドバイザーという形で必要に応じて学校に入らせていただいております。やはりそこで丁寧な対応をしないと、先生方もメンタルダウンではないですけど、そうなってしまうケースが今回ちょっとありましたので、そこは丁寧に対応していきたいと考えております。

**寺岡教育長** その他はございませんか。よろしいでしょうか。では他に質疑等もないようでございますので、以上で質疑を打ち切りたいと思います。

---

## ◎ その他（1）

**【概要】** ※令和 5 年 1 月定例教育委員会の開催日程について、令和 5 年 1 月 31 日（火）17：30 より開催することが決まった。

---

## ◎ 閉会

**寺岡教育長** 以上をもちまして、令和 4 年 12 月定例教育委員会を閉会いたします。本日はお疲れさまでした。

---

・発言の内容について、単純ミスと思われる字句、重複した言葉づかい等を整理の上作成しています。